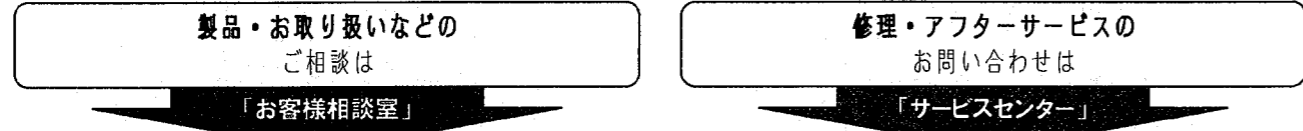


お客様へ…コイズミ照明器具をお買い上げいただきありがとうございます。  
取扱説明書と合わせて保管してください。

## お客様相談窓口のご案内

ご贈答品やご転居などでお買い求めの販売店・工事店へご依頼にならない場合は型番をご確認の上、下記へご連絡ください。




ナビダイヤル (全国共通番号)  
電話 ☎ 0570-055123  
受付時間: 9:00~17:30  
※全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。  
FAX 072-986-5036

ナビダイヤル (全国共通番号)  
電話 ☎ 0570-015123  
FAX ☎ 0570-025123  
受付時間: 9:00~17:30  
※全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

●ナビダイヤルにかからない場合は、「お客様相談室」電話072-986-5081にお電話願います。  
●ご注意: 所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。(2015年01月現在)

### 愛情点検 ★長年ご使用の照明器具の点検を!

 <p>ご使用の際このようなことはありませんか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。</li> <li>●プラグ、コード、本体を動かすと点滅する。</li> <li>●プラグ、コード、本体などが異常に熱い。</li> <li>●こげくさい臭いがする。</li> <li>●コードに傷や痛みが見られる。</li> <li>●グローブ、セードなどにひびが見られる。</li> </ul>	<p>故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、必ず販売店に点検、修理を依頼してください。</p>
	<p>ご使用中</p>	

**安全に関するご注意**

- 照明器具及び関連機器には寿命があります。設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。(周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯の場合)
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

### コイズミ照明器具 保証書

※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

<p><b>＜保証について＞</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。</li> <li>2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯安定器・HID器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。</li> <li>3. ランプ(LED電球含む)・グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。</li> <li>4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。</li> <li>5. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷</li> <li>(2) お買い上げ後の取り付け場所の形変、輸送、落下などによる故障及び損傷</li> <li>(3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷</li> <li>(4) 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷</li> <li>(5) 施工上の不備に起因する故障や不具合</li> <li>(6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷</li> <li>(7) 保証書及び領収書あるいは販売店発行の保証書のご指示のない場合</li> </ul> </li> <li>6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。</li> <li>7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。</li> </ol>	<p><b>＜アフターサービスについて＞</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。</li> <li>2. 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。</li> <li>3. 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。</li> <li>4. 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。</li> </ol> <p>※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものではありません。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店またはコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。</p> <p>※This warranty is valid only in Japan.</p>
<p>保証期間 (お引渡し日より) 本体: 1年間 安定器・LED電源/モジュール: 3年間</p> <p>お買上年月日</p> <p>お名前</p> <p>ご住所</p> <p>電話 ( )</p>	<p>取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号</p>

〔蓄電池内蔵型〕



型番 AR46505L (SB形 低天井用)

自己点検機能付

保存用

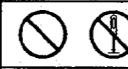

(一般屋内用) 器具の取付けには電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

**施工説明** 工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

## 安全に関するご注意 必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危険や、損害の程度を区分して、説明しています。 ■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)

<b>警告</b>	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。		してはいけない内容です。
<b>注意</b>	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。		実行しなければならない内容です。

### 警告

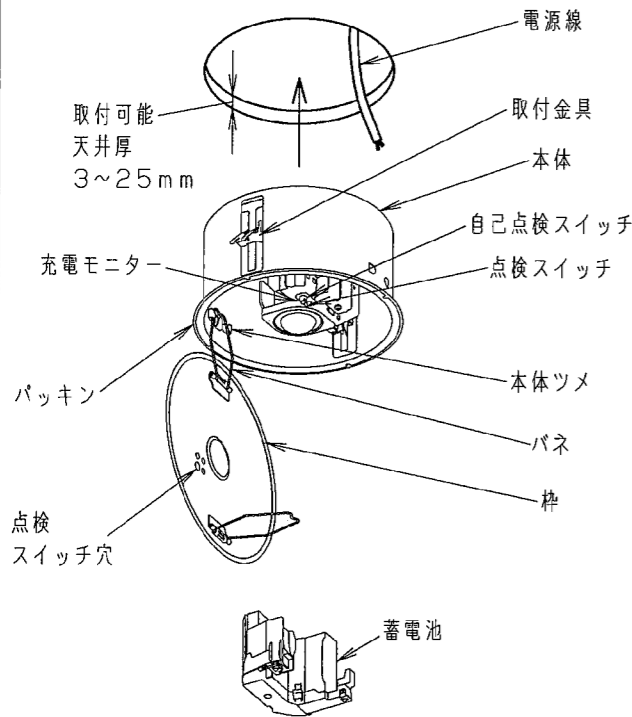
<p><b>厳守</b></p>	<p>施工は、取扱説明書に従い確実に行う。施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。</p>	<p><b>禁止</b></p>	<p>特殊な断熱・遮音・防音施工された天井には使用しない。火災の原因となります。</p>
	<p>レンズはガラス製のため、取り扱いに注意する。破損によるケガの原因となります。</p>		<p>日本照明工業会 Sb・Sgr・Sg形適合品 マット敷工法 フローイング工法</p>
	<p>器具を改造しない。火災・感電・落下の原因となります。</p>		<p>天井埋込専用ですので、壁取付や天井直付はしない。火災・落下・感電の原因となります。</p>
<p><b>分解禁止</b></p>	<p>蓄電池を分解したり火や水に投入しない。火災・破裂・やけど・感電の原因となります。</p>	<p><b>禁止</b></p>	<p>回路の途中にはスイッチを設けない。非常点灯しない原因となります。</p>
<p><b>禁止</b></p>	<p>表示された電源電圧(定格電圧±6%)、周波数以外の電源で使用しない。火災・感電の原因となります。</p>	<p><b>禁止</b></p>	<p>天井埋込専用ですので、壁取付や天井直付はしない。火災・落下・感電の原因となります。</p>

### 注意

<p><b>厳守</b></p>	<p>直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。火災・感電・落下の原因となります。</p>	<p><b>厳守</b></p>	<p>周囲温度は、5~35℃で使用してください。蓄電池の劣化や火災及び非常時点灯しない原因となります。</p>
	<p>48時間充電を行い、その後非常点灯の確認をしてください。蓄電池は設置後通電し、充電しないと非常点灯しません。</p>		<p>電源を通電せずに、蓄電池を接続したまま放置しないでください。蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。</p>
	<p>取付面がクロス貼りの場合、接着剤が十分に乾燥してから器具を取付けてください。サビや変色の原因となります。</p>		<p>ロックウール等の柔らかい天井には取りつけないでください。天井材損傷・器具ズレの原因となります。</p>

## 各部のなまえと取付け方

※この図は一部省略抽象化した共通部品図です。  
器具の取付・取外しは手袋など保護具を着用する。  
けがのおそれがあります。



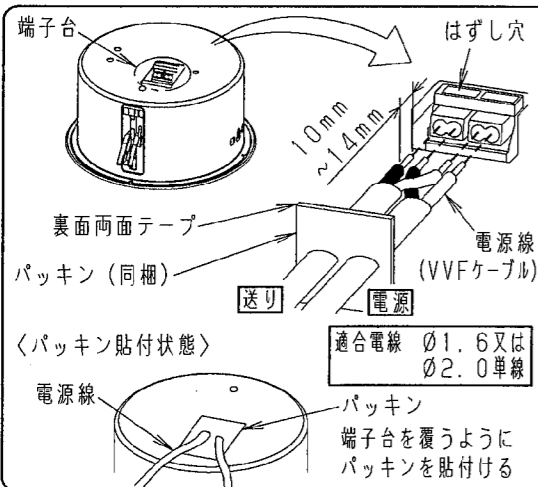
### 1 取付け前の確認

- 器具質量 (0.7kg) に十分耐えるよう取付部の強度を確保してください。
- 不備がありますと器具落下の原因となります。

### 2 天井にφ150<sup>±</sup>の埋込穴をあける

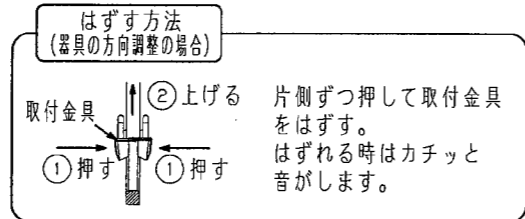
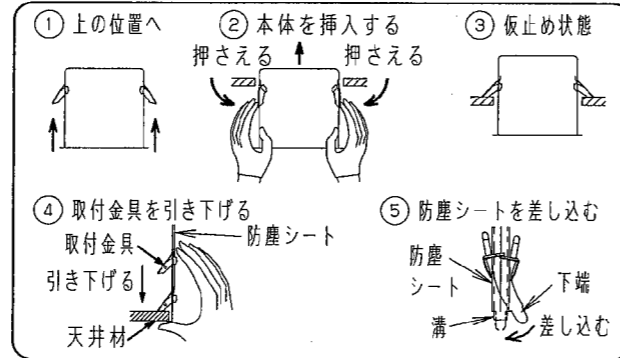
### 3 電源線を接続する

- 電源線を差し込み穴に確実に差し込む。端子台の送り容量は10Aです。
  - ① 電源線をパッキン (同梱) に通す。
  - ② パッキン裏面の両面テープをはがす。
  - ③ 電源線を差し込み穴に確実に差し込む。
  - ④ パッキンを本体に貼り付ける。
- 接続が不完全な場合、非常点灯しません。



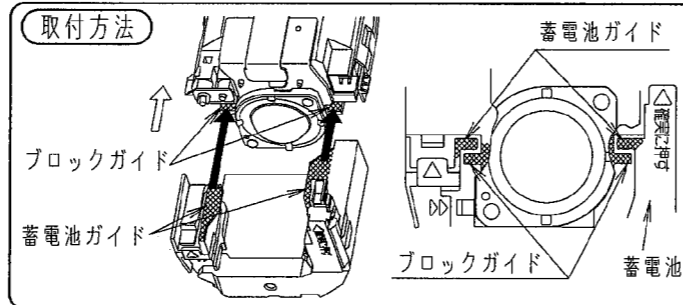
### 4 本体を取付ける

- 取付金具を本体上部へとどめておく。
  - 取付金具を内側へ押さえながら、天井に挿入する。
  - 仮止め状態とする。
  - 取付金具を引き下げて、本体を確実に固定する。
  - 本体の取付金具用の溝に、防塵シートの下端を差し込む。
- 不備がありますと落下の原因となります。



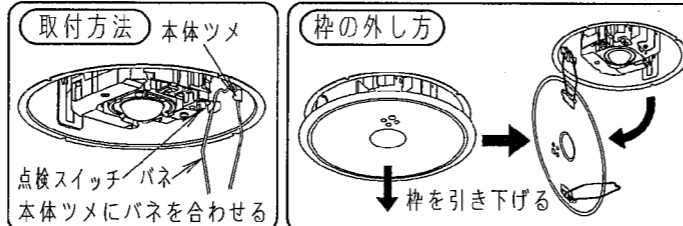
### 5 蓄電池を取付ける

- 蓄電池ガイドをブロックガイドに合わせ、蓄電池を押し上げる。
  - 接続パネ部および蓄電池端子部の▲部分を確実に押し込む。
- 接続が不完全な場合、非常点灯及び落下の原因となります。



### 6 枠を取付ける

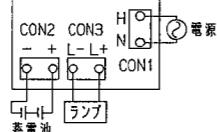
- 点検スイッチと枠の点検スイッチ穴を合わせる。
- 2箇所の本体ツメにパネを合わせ、枠を押し上げる。



## 器具定格・仕様

定格	電圧	100V
	電流	0.020A
	電力	1.0W

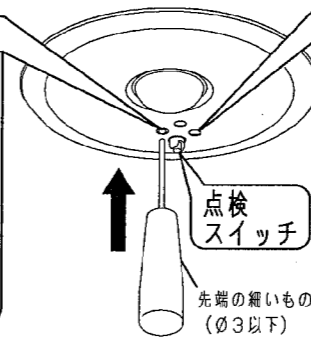
### 接続図



## モニターと自己点検スイッチについて

### 自己点検スイッチ

- 蓄電池の容量確認検査が行なえます。(判定に30分かかります。)
- 先の細い (φ3以下) 物で2秒以上押しと検査を開始します。(充電モニター (緑) が消灯します。検査終了後は自動的に復帰します。)
- 自己点検スイッチの動作には、48時間以上充電が必要となります。(48時間以内に、3秒以上の停電・非常点灯があった場合は点検動作しません。)



### 充電モニター (緑)

蓄電池が充電されているか確認できます。また自己点検"可"のお知らせをします。

● 緑色点灯	正常です。
○ 点灯しない	・蓄電池が充電されていません。 ・非常点灯になっていないか、または、蓄電池が外れていないかを確認してください。
● 緑色点滅	蓄電池の交換時期の目安です。蓄電池の容量低下や異常を緑点滅でお知らせします。

## 定期点検について

- 3ヶ月に1回は、破損、変形などの外観の点検をお勧めします。
- 6ヶ月に1回は、外観点検および性能点検を併せて行ってください。(点検については、誘導灯は消防法令、非常用照明器具は建築基準法令に定められていますので必ず実施ください。)

定期点検の処置・対策			点検記録	
点検項目	確認項目	原因	対策	
外観	器具の変形、損傷の有無		器具又は部品交換	
	枠・レンズの汚れ		柔らかい布で拭く	
機能	充電モニター (緑) の確認	消灯	蓄電池の外れ	蓄電池を確実に差し込む
	点灯	点滅	蓄電池の故障	蓄電池の交換
性能	点検操作を行う	点滅	蓄電池の寿命	蓄電池の交換
	電源を切る	自己点検スイッチを押す		
	ランプ消灯後	点灯		
	充電モニター (緑) の確認	点滅	蓄電池の寿命	蓄電池の交換
	30分間の非常点灯を維持できる	いいえ		
		はい		
			充電モニター (緑) の確認 (電源を切っている場合は通電)	
			【完了】	点検結果の記録

取付場所; 器具No.,  
設置年月日; 年 月 日

点検年月日	点検状態			点検者
	外観	機能	性能	

## 取付後の確認とお願い

- 48時間以上器具に通電した後に、以下の項目をご確認ください。
- 充電モニター (緑) が点灯していることを確認してください。
  - 点検操作を行い点灯を確認してください。30分以上点灯すれば正常です。
  - 点検時以外は点検スイッチを操作しないでください。
  - 電源を通電しないまま蓄電池をつないで放置しないでください。非常時に点灯しません。また、蓄電池の寿命が短くなります。

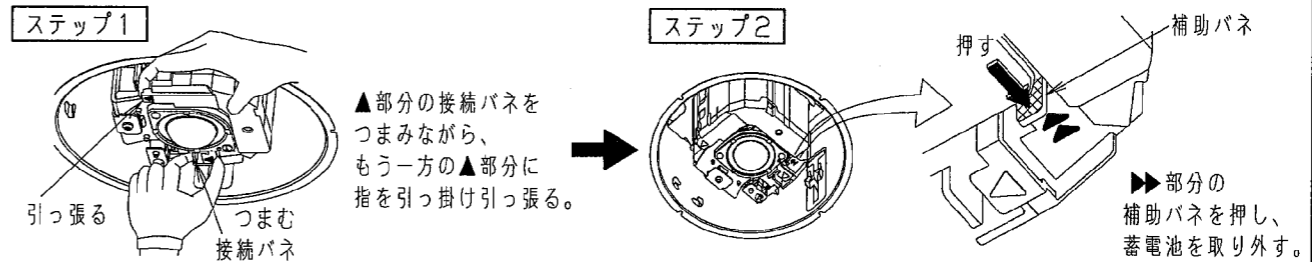
## 蓄電池の交換方法

- 注意** 蓄電池交換時は、器具に取付けられている蓄電池と同じパナソニック製の蓄電池にお取り換えください。故障の原因となります。
- ※この照明器具の光源は交換できません。光源を交換する必要がある場合 (例えば、照明器具が寿命に至った場合) は、照明器具全体を取り替える必要があります。

### 器具の種類と交換部品

交換電池 FK701 (3.6V1450mAh)

※この蓄電池は2段階で外します。一度に最後まで引っ張らないでください。



**リサイクル** Ni-MH この器具は、"ニッケル水素電池"を使用しております。ご使用済みの"ニッケル水素電池"は貴重な資源です。再利用しますので、廃棄しないで電池パックのまま充電式電池リサイクル協力店へお持ちしていただくか、または"有限責任中間法人JBRC"に依頼してリサイクルしてください。